

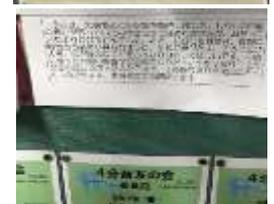
ささゆり・けやきマラソン 昨日より今日 今日より明日の自分を 高めるために…

●11月28日(木)、1~4年生による「ささゆりマラソン(記録会)」
12月12日(木)5~9年生による「けやきマラソン2024」を開催しました。1~4年生は距離1150mで、学校内グラウンドから学びの丘を回るコース。5~9年生は、東郷地区にある「けやきの里」を起点に56年生2300m、後期女子3000m、後期男子3800m、それぞれコースを設定して、野間の大けやき方面から地黄区内を走りました。



●ささゆりマラソンでは、「走るペースをコントロールしながら、長い距離を走る体力を養い、共に励まし合いながら、目標に向かって精いっぱい取り組む態度を養う」ことをねらいにとりくみました。約2週間前からマラソン週間として20分休みに運動場のトラックを走り、努力を積み重ねて、当日を迎えることができました。1年生は試走の時よりもコース取りがうまくなりました。2年生、3年生、4年生と学年が上がるごとに準備運動から走り方にも成長が見られました。みんな精一杯、よくがんばりました。特に走る前と後に他学年を応援する姿に心を打たれました。

●けやきマラソンでは、「ひとりの学びを みんなの学びに」「仲間のがんばりが 一人のがんばりに」というテーマをもって、約1カ月前から体育の時間で長距離走の練習を積み重ねてきました。けやきマラソンに向けて子どもたちが少しでもがんばれるように、気持ちを鼓舞したり、リラックスできるように音楽を流すなど、様々な指導の工夫を駆使して長距離走に臨んできました。マラソン期間中、右写真にもあるように、体育館へ向かう廊下掲示板には、5年生から9年生までの記録、励ましのコメント、目標設定の目安等、日々更新され、担当教員から子どもたちへの熱いメッセージが贈られました。



●当日は、絶好のマラソン大会日和となり、初めて参加した5年生、今年最後になった9年生、その他の学年、それぞれの頑張りが見られる大会となりました。みんなが一人のために、一人がみんなのためにエールを送り合っている姿に心が打たれました。開校以来ずっと、会場を貸してくださっている「けやきの里」様、ささゆりネットボランティアさん、豊能警察や駐在所の方々のご協力のもと、大会を無事、終わることができました。本当にありがとうございました。

●走ることが得意な人も苦手な人も、他人と比べるのではなく、「昨日の自分より今日の自分」「今日の自分より明日の自分」へ高めていくために練習から本番まで本当によくがんばりました。走るとは体づくりやスポーツをする上で、もっとも基礎的なトレーニングです。道具も何もありません。身一つ、自分の意志さえあればいつでもどこでもできます。「継続は力なり」。走ることが好きになれるように、これからもチャレンジしてほしいと思います。

赤い羽根募金 児童会生徒会 25,526円 社協へ

●12月、児童会生徒会による赤い羽根募金運動がおこなわれました。朝早くから第2正門前に立って3日間5年生から8年生の役員が募金を呼びかけました。昼休みには「今日の収益金は〇〇円です。明日も募金運動をおこないますので、ご協力ください。」と全校放送を継続。翌朝、校門で「今日は持ってきたよ。」とカバンをおいて募金袋を取り出し募金箱へ差し出す友だちの声。役員のがんばりの甲斐あって、2.5万円を超える募金が集まりました。

●後日、社会福祉協議会の中井会長と東事務局長さんに来校していただき、児童生徒会役員から直接手渡しして募金を届けました。ご協力ありがとうございました。

